

第2回 CNCPセミナー開催報告 市民パワーアップ・セミナー in 仙台 —シビルNPOが市民連携の視点で果たせる役割とは—

去る11月19日、仙台市のノートプランカにおいて、第2回CNCPセミナーとして、[シビルNPOが市民連携の視点で果たせる役割とは]が開催されました。

参加者：以下の計24名

法人正会員(2)、建設会社(8)、コンサルタント(4)、設備会社(2)、建築設計(1)、報道(1)
主催者(4)、講師(2)

市民参加のスキルと復興をめぐる市民参加

今回のセミナーでは、序論として、CNCPの活動、役割についての紹介の後、市民連携のスキル復興をめぐる気仙沼市民の活動についての講演が行われました。

1. 序論（質疑含み30分）

- (1) CNCPの組織と活動の現況 CNCP教育研修委員会委員長 常務理事 有岡正樹
- (2) 地方におけるシビルNPOに対するCNCPの役割 常務理事 皆川 勝

2. 講演

- (1) 「市民連携のスキルとは？ ～参加のデザインを学ぼう～」(45分)
特定非営利活動法人NPO研修・情報センター 代表理事 世古一穂
- (2) 「復興をめぐる気仙沼市民の活動、気仙沼方式に学ぶ」(45分)
気仙沼内湾地区復興まちづくり協議会 会長 菅原昭彦

3. ワークショップ（60分）

「シビルNPOの市民活動を通じて合意形成に果たせるノウハウを探る」

コーディネータ：(正)世古一穂、(副)菅原昭彦

菅原昭彦会長の講演内容を受けて、4つのグループに分かれて、気仙沼における市民参加をテーマに意見交換をおこないました



菅原会長による講演風景



世古理事による講演風景

報告：松本 健一（CNCP事務局）